

平成28年度白石市まちづくり交付金事業実績

平成28年度に採択された白石市まちづくり交付金事業21件の事業実績について報告します。

□沢端川周辺環境美化整備事業（沢端川の環境を守り鯉を育てる会）

環境美化および観光振興に寄与するため、多くの観光客が訪れる白石城や武家屋敷への散策路となっている沢端川周辺の剪定など、環境整備を行いました。



▲神石白石の松を剪定



▲沢端川沿いの木々も剪定

□鷹巣第5公園緑化植栽事業（鷹巣自治会）

第5次白石市総合計画白石地区まちづくり宣言の実現に向けて、市の「城花町しろいし」事業に賛同し、鷹巣第5公園の緑化事業に取り組みました。



▲お父さんと一緒に子どもも植栽



▲ベゴニアを植栽する地区民

□国道113号鹿野地区花壇再生事業（上郡山自治会館運営委員会）

上郡山第一・第二自治会の住民相互の親睦をさらに深めるために、国道113号沿いの花壇に花を植栽し、平成28年度みやぎ花のあるまちコンクールで優秀賞を受賞しました。



▲約90名が参加して植栽



▲子どもたちも楽しく植栽

□白石川堤防環境美化整備事業（白石川堤防の桜を守る）

古くから花見の名所として市民に親しまれている桜並木の環境整備のため、白石川周辺の桜の剪定、雑草雑木の刈払いを行いました。



▲桜の枝を剪定



▲雑草の刈払い

□子ども神輿継承事業（越河5区6区子ども会）

少子化により神輿を担ぐのが困難になってきたため、神輿を搭載する台車を製作しました。これによりスムーズに神輿を移動することができ子どもたちの負担も軽くなりました。



▲製作した台車



▲移動がスムーズになり笑顔の子どもたち

□越河地区内名所・旧跡等PR事業（越河地域振興会）

公民館敷地内に設置した「越河地区宝ものまっぷ」が好評のため、観光客の利便性向上のためにJR越河駅前にも増設しました。



▲JR越河駅前に設置



▲地区の名所旧跡などが分かる

□斎川夏まつり盆おどり大会（夏まつり実行委員会）

より一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、交付金を高齢化により組立が困難になったやぐら組立や仮設電気配線工事に充て、伝統ある夏まつりを開催しました。



▲組み立てられたやぐら



▲盆踊りを楽しむ参加者

□齋川地区活性化プロジェクト（齋川まちづくり協議会）

地区の活性化を目指して講師を招聘し、5回のワークショップから、ころ柿づくり体験会を開催しました。体験会には市内外から約80名が参加し、ころ柿づくりを楽しみました。



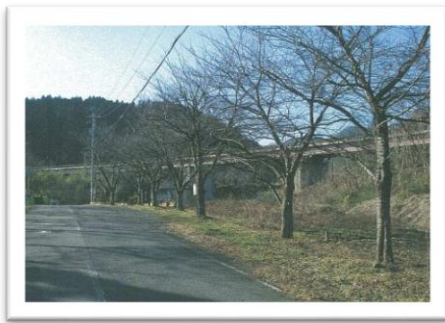
▲ワークショップの様子



▲真剣にころ柿づくりに挑戦する子どもたち

□旧奥州街道桜並木整備事業（齋川まちづくり協議会）

環境美化と齋川地区の活性化を目指し、桜の名所として知られる田村神社周辺の桜並木の剪定と伐採を行いました。



▲支障枝や病気の枝を剪定



▲整備によりきれいに開花した桜

□大平ふるさとフェスタウォーク&ドライブ・スタンプラリー（白石市大平自治会連合会）

故郷に愛着と誇りを持ってもらい、地区民同士のさらなる融和のため、地域の自然や歴史を生かしたスタンプラリーを開催した。



▲スタンプラリーの様子



▲地域の旧跡名所が掲載されている

□神楽備品整備事業（榊流大町神楽継承会）

平成18年5月に白石市指定民俗文化財となった榊流大町神楽を継承するために、老朽化により修繕不能な鳥兜を購入した。



▲購入した鳥兜



▲鬼小十郎まつりで披露

□奥州白石噺プロジェクトPart 3（大鷹沢一区孝子会）

奥州白石噺の舞台である八枚田・孝子堂の文化を伝承し、観光の発展と振興のために作成した観光パンフレット『奥州白石噺～ゆかりの地をめぐる～』を増刷。市内観光案内所など主要な観光施設で配布し、大変好評を得ています。



▲増刷したパンフレット



▲観光案内所等に設置

□太鼓伝承事業（大鷹沢子ども太鼓の会）

子どもを中心に太鼓演奏を伝承していくために、不足していた平太鼓等を購入。様々なイベントにも出演し、地域活性化の一助も担いました。



▲購入した平太鼓



▲薬師堂ホテルまつりで披露

□白川夏まつり大会（白川夏まつり実行委員会）

より一層の交流を図り、地域の活性化に繋げるため、交付金を、舞台組立工事費、音響設備レンタル料に充て、夏祭りを開催しました。



▲組み立てられた舞台



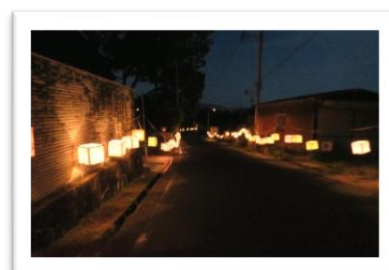
▲仮装して盆踊りを楽しむ参加者

□白石薬師堂ホテルの里を継承する事業（白石薬師堂ホテルの里を守る会）

ホテルが舞う清らかな自然環境を作り次の世代へ引き継いでいくために、ホテルの再生に実績のある専門の講師を招き、ホテルの生育環境調査を行いながら成虫を増やす取り組みを行いました。



▲多くの参加者でにぎわったホテルまつり



▲幻想的な雰囲気を出す手作りの灯籠

□花と緑の地域づくり事業（上原自治会）

地区住民の交流を深め、地区内を花で癒す花と緑の地域づくりを推進するため、県道 254 号沿いの花壇や地区内の交差点などに花を植栽しました。



▲会話を楽しみ植栽する地区民



▲慣れた手つきで植栽する地区民

□地区内の歴史文化伝承（山根自治会）

地域内にある『いぼ神様』の史跡の由来を伝達、周知するために、地区民同士が協力しあって案内看板等を設置しました。



▲協力して看板を設置する地区民



□不忘地区ふれあい事業（不忘自治会）

地区のコミュニティ活性化のため、開拓70年の節目に地区のあゆみを記した看板を地区民同士が協力して設置しました。



▲地区のあゆみを記した看板



□深谷地区夏まつり大会（深谷夏まつり実行委員会）

地区民の融和と地区の活性化のため、地域の人たちの連携と協力により、地区民全員が参加できる夏まつりを開催しました。



▲地区内の太鼓グループによる太鼓披露



▲多くの参加者で盛り上がった盆踊り

□深谷笠松太鼓継承事業（西上わかたけ会）

地区の活性化と親睦を深めるとともに、「笠松太鼓」の伝統継承などを目的に、大人の太鼓演奏のグループを立ち上げ、練習成果を地区内のおまつりなどで披露し、会場を盛り上げました。



▲講師を招聘して開催した練習会



▲練習成果を披露した深谷公民館まつり

□検断屋敷まつり（小原地区活性化推進協議会）

地域資源の材木岩公園と検断屋敷を活用し、交流人口の拡大を図るとともに、小原の自然景観や地場産品をPRするために、年4回の検断屋敷まつりを開催しました。



▲夏の検断屋敷まつりの水中スイカ割り



▲冬の検断屋敷まつりのだんごさし